

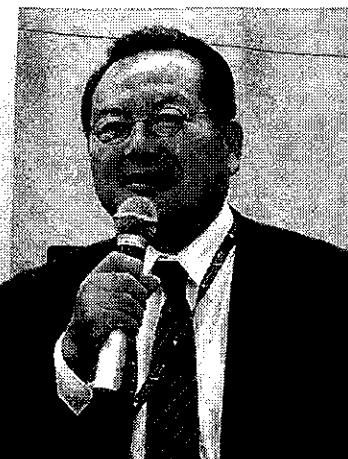
內 航 海 運 新 聞

H29.9.25
#2505 5

日本海洋人間学会

会
長
樺
田

人材確保・育成の重要性強調 第6回大会に係るシンポジウムで



神田一郎会長

日本海洋人間学会（神 田一郎会長）は9月16	日、「第6回日本海洋学 会大会」に係るシンポジ ウムを開催した。今回の	テーマは、「海洋分野に おける人材の確保と育 成」。これは、近年の海	洋分野全般における課題の一つである、人 材確保・育成の重要性な	どをメインテーマとして 取り上げたもの。	洋分野全般における課題の一つである、人 材確保・育成の重要性な
文部科学省の高橋洋子主 任教科書調査官が、「海	洋分野全般における課題の一つである、人 材確保・育成の重要性な	どをメインテーマとして 取り上げたもの。	洋分野全般における課題の一つである、人 材確保・育成の重要性な	どをメインテーマとして 取り上げたもの。	洋分野全般における課題の一つである、人 材確保・育成の重要性な
方などに係る各種講演が 行われた。	また、冒頭の挨拶の中 で神田会長は、現状に鑑 み、将来のわが国の海洋 分野を担う人材の確保・ 育成を図ることの必要性	洋分野全般における課題の一つである、人 材確保・育成の重要性な	どをメインテーマとして 取り上げたもの。	洋分野全般における課題の一つである、人 材確保・育成の重要性な	どをメインテーマとして 取り上げたもの。

学会では、そうした様々
な分野で活動を行う指導
者、教育者、研究者など
の方々に対し、海を通じての教育プログラムの
提供などに係る学理や、
その応用についての研究
発表、様々な活動現場で
大会を開いて、海と人間
に関わるテーマで、様々
なシンポジウムを実施して
いる。

今年は海洋基本法の成
立から10年目であり、海
洋基本計画の5年ぶりの見直しの2回目の最終年

児教育から始まって小・中・高校、そして社会に出てからの若年船員の養成などについて、今回は教育者の方々とともに、内航、外航、漁業関係の船会社の方々にも講演し

洋教育へ求められる海洋人材を育む教材のあり方の展望」と題して、本年3月に改訂が告示された学習指導要領を踏まえ、今後の海洋教育に係る教材のあるべき方向性

神田会長の挨拶帽子は次
のとおり。
【神田会長の挨拶】

の情報や知識の交換、会員相互および内外の関連団体との連携協力などを実行。これにより、海で活動する人々にまつわる学問の進歩・普及を図り、もってわが国の学術の発展に寄与することを

度にあたる。これを踏まえて、国を挙げて海洋に関する様々な取り組みが強化されてくる。特に本年3月に改訂が告示された学習指導要領では、子供たちの教育分野において、海に関する事柄をよ

ただいた。本日は皆様に、様々な講演などを聞いていただき、日本の将来の海洋分野を担う若者の育成について考える上で、参考にしていただければ幸いである。